

# EA534XC-150B(セーフティワイヤーツイスター)取扱説明書

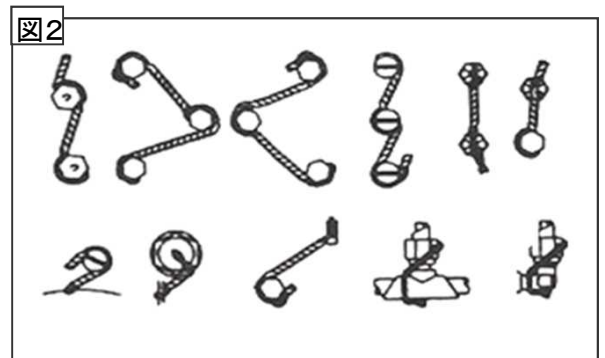
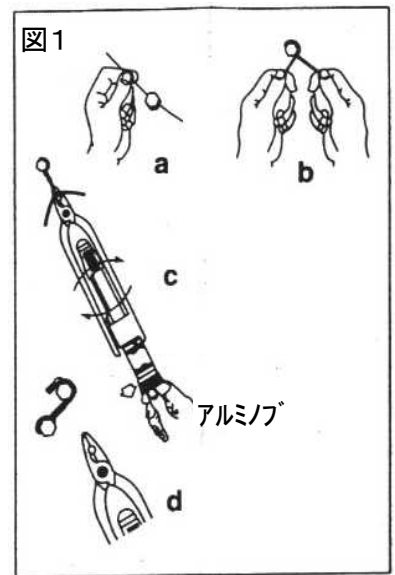
このたびは当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

## 仕様

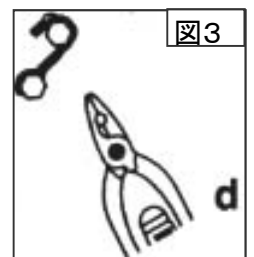
右回り専用215mmツイスター/オートリターン

適合ワイヤーサイズ	全長(ペンチ部)
~φ1.0mm	215mm(175mm)

- 1) ネジ・ナット・プラグその他の締め具を固定する前に、少し緩めて下さい。但し、あまり力をかけないで下さい。
- 2) サイズとタイプに合ったワイヤーを使用して下さい。ワイヤーの再使用はやめて下さい。
- 3) プライヤーのハンドルを握り、口を開いて下さい。
  - ① 同時にプライヤーの中心にある丸い穴のあいたスライダのロックを解除して下さい。それから2本のワイヤーをはさみ、片方の手でハンドルを握りしめスライダをもう一方の手で後に引っ張って下さい。これでプライヤーがロックされます。
  - ② 図1Cのようにアルミのノブを引っ張るとロッドが捻られプライヤーを回転させワイヤーを捻ります。つまみとツイスト棒はバネ式のため、はなすと元の位置に戻ります。あるいは自分で元の位置に戻します。
  - ③ ねじりたい長さになるまで繰り返しねじれます。
- 4) ① ダブルツイストセーフティワイヤー(下参照)をする時はワイヤーを締め具の穴に通した後にワイヤーの外皮がはがれないようにワイヤーを真っ直ぐ引っ張って下さい。
  - ② それからインチ当たり完全回転の4~5程度のきつさで回転させて下さい。その他のダブルツイスト例については図2を参照して下さい。



- 5) 右の図のような小さなネジが接近している場合や三角、四角、長方形、円形などのような格好の場合や電気系統のパーツや離れ過ぎているパーツにはシングルツイストに限られます。
- 6) 締め具の穴の端が破損したり、ワイヤーが伸びたりしますので、ワイヤーを強く引っ張らないで下さい。ワイヤーのもつれ・よじれを起こさないように注意して下さい。
- 7) ワイヤーの端が弱くならない程度にできるだけ強く、ピンと張るように回転させて下さい。
- 8) ワイヤーの緩みによってはずれたりボルトの頭に被さったりしないようにボルトやネジの頭の周りがしっかり張るようにワイヤーをねじって下さい。
- 9) 溝付ナットに使用する場合、特に定められていない場合はトルク範囲の低い所で締めて下さい。又必要な場合は決められたトルクの範囲で穴がー列に並ぶまで締め続けて下さい。
- 10) ワイヤーの端のねじり部分は1/4" ~ 1/2" の長さ(フォーツイストを限度とし)にし図3dのようにワイヤーの障害とならないように折り曲げて下さい。
- 11) この方式によるナット・ボルト及びネジの数についてはそれぞれの適用指示によりますが、説明の通りダブルツイストによる広い個所での応用は3回あるいは24" の長さが限度です。



注意: この説明書に記載されているセーフティワイヤーリングは右ネジを基本にしています。